【美濃工業株式会社】

ジョブなビ　中京学院大学生による若手社員インタビュー

製造業にとって極めて重要なインフラストラクチャーであるダイカスト業界の中堅・専業メーカーとして半世紀にわたる経験・事業ノウハウと時代の要請する技術革新を続け、現在も力強い成長を続けている企業です。世界トップクラスの超薄肉化技術を用いて、自動車部品の軽量化による燃費向上、重量コストや再生コストの低減に貢献しています。

【美濃工業株式会社】

＜若手社員インタビュー＞

【社員の方の紹介】

西尾　裕貴さん　経営情報科卒の 28 歳　中津川市出身

新卒で愛知県内の私立大学に事務職員として就職

2015 年美濃工業に転職。

①　どのような仕事をされていますか？

魅力や大変なところを教えてください。

美濃工業では総務課人事教育係に所属し、インターンシップ・採用・教育を担当しています。

採用活動では、Web・インターンシップ・大学訪問などを通じて、県内外の方へ美濃工業を知っていただくことから始まります。

求人倍率の上昇に伴い人材の確保が難しくなっているのが今の課題です。

②　この会社で働こうと思った理由を教えてください。

地元が中津川で、実家の長男ということもあり、いずれは地元に戻り仕事をしたいと思っていました。そこで、地元で最大級の規模を誇る美濃工業を知りました。今まで製造業に関わりがなかったので、製造業というと機械の音で、「うるさい」「汚い」というイメージでしたが、企業見学をし、実際自分の目で、働く人の様子や、企業理念を知り、とてもきれいで、女性も多く働いており、今までの悪いイメージが払拭され、「この会社でチャレンジしたい」と思い、就職することを決めました。

③ 中津川市で働こうと思った理由は何ですか？

初めに愛知県で就職したときは、全国転勤でも良い、自分のスキルアップを目標に就活をしていました。就職後は人とのつながりが少なく、人とのつながりがある地元に帰り就職しようと思いました。

④ 今後の目標ややりたいことは？

まずは、与えられた仕事を１００％実行することが目標です。総務の仕事をしているので、従業員のみなさんが働きやすいようにコミュニケーションをとること。そして、仕事のサポートが出来るよう頑張りたいです。

⑤ 学生の時と働きはじめて以降で一番変わったことは？

学生時代は部活をしており、横のつながりが多かったのですが、社会に入り縦のつながりが多くなりました。そこに不安を感じました。年上の方との接し方が大切だと思いました。

⑥ ふり返って、学生の内にしておくといいと思うことは？

社会に入ると休みが少なくなりできることも限られてくるので、学生のうちにできることは多く経験するといいと思います。
例えば、遊ぶときはしっかり遊ぶ、やることはやる。幅広く経験を身に着けることが大事だと思います。

【インタビュアー】
池田　祐弥・西尾　由樹・新海　文菜・北村　央
（中京学院大学３年生）

【企業概要】

美濃工業株式会社

設立
1951年3月

資本金
4億1，620万円

売上高
161 億円
(平成 26 年度)

社員数
566 名
(男 463 名、女 103 名)

事業内容
アルミダイカスト製品（主に自動車部品）の金型設計から二次加工まで一貫生産

事業所
本社、坂本工場
坂本第 2 工場

連絡先

〒509-9132

中津川市茄子川
1646-51

総務部総務課　後藤

TEL 0573-66-1025

MAIL
saiyou@mino-in.co.jp